



平成 18 年 9 月 15 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ イ ツ ー
 代表者の役職名 代表取締役社長 大橋 康宏
 (J A S D A Q ・ コード 7 6 1 0)
 問い合わせ先 取締役 C F O 片山 靖浩
 電 話 番 号 0 3 - 5 4 0 8 - 5 1 0 0 (代 表)

平成 19 年 2 月期中間 (単体 ・ 連結) 業績予想との差異及び
 通期 (単体 ・ 連結) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 2 月期 (平成 18 年 3 月 1 日 ~ 平成 19 年 2 月 28 日) の業績予想について、平成 18 年 4 月 20 日付当社「平成 18 年 2 月期決算短信 (連結) 」および同日付当社「平成 18 年 2 月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1 . 平成 19 年 2 月期連結業績予想の修正等

(1) 中間期 (平成 18 年 3 月 1 日 ~ 平成 18 年 8 月 31 日)

(単位 : 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	1 7 , 0 3 0	1 3 0	4 5
今回修正 (B)	1 9 , 7 5 0	2 7 0	5 0
増減額 (B - A)	2 , 7 2 0	1 4 0	5
増減率	1 6 . 0 %	1 0 7 . 7 %	1 1 . 1 %

(2) 修正理由

中間連結売上高につきましては、古本市場事業における新品ゲーム、中古ゲームの売上高が予想以上に好調であったため、19,754百万円 (当初予想比 2,720百万円増) となる見込みであります。

中間連結経常利益につきましても、アイ・カフェ直営店の出店が上半期に集中 (5 店舗) したことに伴う出店費用の発生などがあったものの、古本市場事業の売上好調が売上総利益を押し上げたことにより、270百万円 (当初予想比 140百万円増) となる見込みであります。

また、中間連結純利益につきましては、退職給付会計原則法の適用、アイ・カフェの一部店舗の減損処理等、特別損失 130百万円の発生により、50百万円 (当初予想比 5百万円増) となる見込みであります。

(3) 通期 (平成 18 年 3 月 1 日 ~ 平成 19 年 2 月 28 日)

(単位 : 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	3 8 , 7 2 0	8 0 0	3 4 0
今回修正 (B)	4 1 , 0 0 0	8 0 0	3 4 0
増減額 (B - A)	2 , 2 8 0		
増減率	5 . 9 %		

(4) 修正理由

連結売上高につきましては、中間期の好調により、当初予想を上回る41,000百万円(当初予想比2,730百万円増)となる見込みであります。

連結経常利益につきましては、新品ゲームを中心とした売上好調の影響もある半面、アイ・カフェの直営店のうち、今期出店した店舗の売上増加のペースが、当初の予想より下回っていることや、アイ・カフェFC出店が計画よりも少なくなる見込みであることなどから800百万円(当初予想と同額)となる見込みであります。

したがって、連結当期純利益につきましては、上記の理由により、340百万円(当初予想と同額)となる見込みであります。

(5) ご参考：前期実績(平成17年3月1日～平成17年2月28日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期(3/1～8/31)	16,107	255	131
通期(3/1～2/28)	35,556	672	160

2. 平成19年2月期単独体業績予想の修正等

(1) 中間期(平成18年3月1日～平成18年8月31日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	15,820	90	40
今回修正(B)	18,730	340	110
増減額(B-A)	2,910	250	70
増減率	18.4%	277.8%	175.0%

(2) 修正理由

中間単独売上高につきましては、古本市場事業における新品ゲーム、中古ゲームの売上高が予想以上に好調であったため、18,730百万円(当初予想比2,910百万円増)となる見込みであります。

中間単独経常利益につきましても、上記の売上増に伴い、340百万円(当初予想比250百万円増)となる見込みであります。

中間単独純利益につきましては、退職給付会計原則法の適用、アイ・カフェの一部店舗の減損処理等、特別損失の発生120百万円があったものの、売上好調の影響による経常利益の増加により特別損失を吸収し、110百万円(当初予想費70百万円増)となる見込みであります。

(3) 通期(平成18年3月1日～平成19年2月28日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	34,800	600	280
今回修正(B)	37,750	750	300
増減額(B-A)	2,950	150	20
増減率	8.5%	25.0%	7.1%

(4) 修正理由

単独売上高につきましては、中間期の好調により、37,750百万円(当初予想比2,950百万円増)となる見込みであります。

単独経常利益につきましても、売上好調などにより、当初予想を上回る750百万円(当初予想比150百万円増)となる見込みであります。

当期純利益につきましても、上記の理由により、300百万円(当初予想比20百万円増)となる見込みであります。

(5) ご参考：前期実績(平成17年3月1日～平成18年2月28日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期(3/1～8/31)	14,667	222	97
通期(3/1～2/28)	33,270	646	150

以 上